

各校の取組の様子

南郷小学校

学習発表会の児童公開の後、他学年の発表を観ての感想を「ふれあいレター」として各学年に届けます。6年生のワークスペースには、「6年生の歌を聴いて、さすがと思いました。」「私も6年生になったらあんな発表をしたいです。」といった内容の手紙がたくさんありました。6年生が全力で取り組み、それを観た下学年の児童は、憧れを抱き、負けずに頑張ろうとしたり、それを目標としたりします。

本校には、このような場がいくつもあります。5・6年生が、一つ下の学年に宿泊的行事の様子を伝えたり、総合的な学習で学習した内容や生活科で考えた遊びを下学年に教えたりしました。このような営みをこれからも大切にし、「憧れの目」と「憧れられる責任」をもち続けてほしいと思います。



南白石小学校

4年生は社会科の学習で白石区土木センターの出前授業を12月に受け、実感の伴った学習を繰り返しています。1月になってから地域に潜む危険を考えた地図作りを行いました。完成は3月ころになるのでしょうか。子どもたちは、自分たちの学習の成果物として、楽しみにしています。

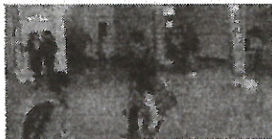


また、3年生では、総合的な学習の時間で地域の学習を行いました。連合町内会から会長様をお呼びし、地域のことをたくさん学びました。「こころ一ど」は昔鉄道が走っていたことは知っていても、黒煙がもくもくと立ち上りながら、振動と音を伴って走っていたそうです。これには、黒煙が身近にない子どもたちは驚きました。

本郷小学校

4月、9月、1月に全校であいさつ運動に取り組みました。本郷商店街の方や、地域の町内会の方にもご協力いただき、玄関前を出ていただいて同じ時間帯にあいさつをする取組です。

児童会の書記局も玄関ホールに立ち、笑顔で元気にあいさつしていました。しろっぴーとくろっぴーも来校し、子どもたちも嬉しそうでした。



白石小学校

10月、5年生の滝野宿泊学習がありました。出発式では、期待と不安、緊張が入り混じっている様子の子どもたちでしたが、様々な活動を通して仲間と協力する姿がたくさん見られました。みんなで作ったカレーライスが格別だったようです。準備から当日まで子どもたちが声を掛け合って、助け合う姿に大きな成長を感じました。



白石中学校

ここ数年行われていなかったボランティアによる外清掃を10月に行いました。100名前後の生徒がボランティアに参加し、3つのグループに分かれ、公園の中と周辺、商店街の通り、白石体育館周辺に落ちているゴミを拾いました。

意外とゴミが落ちていて、生徒はあちこちにあるゴミを意欲的に拾っていました。火ばさみで拾ったゴミを袋に集めるという作業を学年関係なく、効率的に行っていました。



活動の最後に「たくさんのゴミが落ちていたので、定期的にこのボランティア活動ができればいいな」という前向きな感想が聞かれました。

今年度の活動を振り返って

これまでのコロナ禍により、多くの活動が縮小または中止を余儀なくされましたが、少しずつ、様々な活動を行えるようになってきました。コロナ以前とまったく同様の活動に戻すのではなく、お互いの負担軽減を図りながら活動を精選し、児童生徒の健全な育成に資する活動となるように取り組んでいきたいと思っています。

今後も、学校と地域が連携しながら児童生徒を育てていけるようつながりを大切にしていきたいと思っています。地域の皆様の御協力もよろしくお願いいたします。

なお、各校ともホームページが充実しており、各校の取組や子ども達のいきいきとした姿を見ることができますので、保護者の皆様、そして地域の皆様、各校のホームページもぜひ御覧ください。